

6月も最後の聖日を迎えました。今日は教会学校がお休みなので、子どもたちもともに同じメッセージに耳を傾けます。さて、今読んでいただいたテキストは、いつもより少し長く15節もありますが、13節から15節までの3節を除いては、すべての節に「愛」という言葉が出てきます。この手紙の中には、これまでも「愛」という言葉が何度もできましたが、今日のところは特に「愛」をテーマにしているということが出来ます。

Today is the last Sunday of June. Since there is no Sunday School today, our children are here with us to listen to the message. Today's text is a bit longer than usual, with 15 verses. Except three verses from verse 13 to 15, every verse includes the word 'love'. We have seen the word 'love' in this letter before, but today's text emphasizes the theme of 'love' more strongly.

一般的に、私たちは他の人に親切にするような人を「愛のある人」、その反対に、他の人に冷たい態度をとるような人のことを「愛のない人」などと言ったりしますが、実際にそのように言いたくなるような人々がこの世にはいます。あなたはどちらでしょうか？「愛の人」ですか？それとも「愛のない人」ですか？どちらとも言われたことがないという人もおられると思います。そのような感覚で、私たちは神様に対しても「神様には愛がある」とか「神様には愛がない」と言うことがあると思うのです。しかし、どうでしょう？8節を見ると、そこには「神は愛だからです」とあります。「神は愛である」とは、神様は愛そのものだという意味です。神様は常に愛であられる方であり、その愛はいつも変わることはありません。

Generally, we call people who are kind to others 'loving'. On the other hand, we call people who are unkind to others 'unloving'. In this world we encounter people whom we are tempted to call in such a way. Which one are you? Are you 'loving', or 'unloving'? Some of you may say that you have not been called either way. In the same sense, we could also call God 'loving' or 'unloving'. But look at verse 8. It says “God is love”. It means that God is love itself. He is always loving, and His love never changes.

では、神様の愛とはどのようなもので、どのようにして私たちにわかるのでしょうか？9-10節を見てみましょう。「9 神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちに、いのちを得させてくださいました。ここに、神の愛が私たちに示されたのです。10 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです」。

Then, what is God's love and how can we understand it? Let's look at verse 9 and 10. “...He sent his one and only Son into the world that we might live through him. This is love: not that we loved God, but that he loved us and sent his Son as an atoning sacrifice for our sins.”

私たちが神様を愛したから、神様は私たちを愛して下さるのではありません。私たちのうちには、神様を愛する愛も、隣人を愛する愛ももともとないのです。しかし、そのような私たちのために神様は御子イエス・キリストをこの世に遣わすことによって、愛が何であるかを私たちに示して下さったのです。愛は神様から出て、私たちへと向けられているからです。ですから、神様に対して私たちが心を開くなら、神様の愛は私たちのうちに惜しみなく注がれるのです。これが神の愛の流れです。私たちが神様に愛を求める理由はここにあります。

God does not love us because we love God. We naturally do not have the ability to love God or our neighbors. However, He showed us what love is, by sending His Son Jesus Christ to this world for us. Love flows from God and pointing toward us. Therefore, if we open our hearts to God, His love will be poured into us abundantly. This is the flow of God's love. This is the reason why we seek love from God.

もちろん、私たちは日々の生活を通して夫や妻、子どもたちといった家族から、また知人や友人からも愛を受けます。しかし、それは彼らが自分の意志で進んで愛を示してくれるものであって、私たちはその愛を恵みとして受けるのです。ですから、その差し出された愛を私たちは受けることはあっても、それを当然のことかのように考えて、相手に求めると間違ったことになってしまいます。愛は強制されるものではないからです。もし、私たちが他の人に自分を愛することを強制するならば、私たちの心は決して満たされることはないでしょう。

Of course, we also receive love from our spouses, children, friends or families through our daily life. However, they show love to us voluntarily and we receive it as a blessing. Therefore, we can receive it as a gift, but if we considered it as natural and required them to love us, we were making a mistake. Love should not be forced. If we force others to love us, our hearts will never be satisfied.

私自身、神様の愛を知るまで、他者に対していつも愛を求めていました。特に母親には自分に愛を示してくれるようにといつも望んでいました。もちろん、母親は母親なりに私を愛してくれました。それは今でもそうです。しかし、母親の示そうとする愛情と、私の願うそれとはいつも違っていたのです。その結果、私の心が満たされることはありませんでした。むしろ、いつも母親に対して私は自分が大切にされていないという怒りを心に持っていたのです。

I was always seeking love from others. Especially I desired my mother to show her love to me. Of course she loved me in her own way, and she still does. However, the love she was trying to show me and the love I desired from her were always different. As a result, my heart was never satisfied. Rather, I was angry at her because I did not feel like she treasured me.

しかし、聖書はいうのです。「愛は神から出ているのです」(7節)と。愛は神様から出ているのに、それを神様に対してではなく、人に求めるとどうなるのでしょうか？当然、愛を受けることはできません。愛を受けるためには、私たちは神様に求めなくては行けないのです。私たちが神様に愛を求めるなら、神様はご自身の愛をもって私たちに満たして下さいます。なぜなら、それが神様が望んでおられることだからです。神様はご自分のもとから愛が流れ出て、私たちに満たし、私たちが互いに愛し合うようになることを望んでおられるのです。

However, the Bible tells us "...love comes from God." (verse 7) What would happen when we seek the love from people when it flows from God? Of course we cannot receive it. To receive love, we need to ask God. If we ask God for love, He will fulfill us with His own love because that's His desire for us. He desires that His love flows from Him and fills us up, so that we can love one another.



私の尊敬している牧師の一人に、ビル・ウィルソン牧師がいます。ビル先生は、ニューヨークのブルックリンを本部とするメトロ・ミニストリーズの創立者です。そこでは毎週3万人以上の子どもたちを集めて教会学校をしています。以前にも、メッセージの中で紹介したことがありますが、このミニストリーは今では全世界の500以上の都市に広がっています。

One of the pastors I respect is Pastor Bill Wilson. He is a founder of Metro Ministries which has a headquarter in Brooklyn, NY. Every week, their Sunday School attracts more than 30,000 kids. I introduced him before in one of my messages. His ministry is now spreading to more than 500 cities in the world.

このビル先生にはとても悲しい過去があります。それは先生がまだ子どもの頃のことです。先生は実のお母さんに捨てられたのです。ある時、お母さんは、先生に自分が戻ってくるまで、道ばたに座って待っていなさいといいました。そして、先生はそこでお母さんが戻ってくるのをずっと待っていたのです。けれども、三日経ってもお母さんは戻って来ませんでした。ビル先生はお母さんに捨てられてしまったのです。

Pastor Bill has a very sad past. When he was a little boy, he was abandoned by his birth mother. One day his mother told him to sit on the street to wait until she comes back. So he sat, waiting for her to come back. However, even after 3 days, she did not come back. He was abandoned by her.

先生が孤独と絶望の中にいた時に、一人の男性が現れました。その男性は、ビル先生が三日間も同じところにいるのを見て、声をかけたのです。そして、お金を出して先生をクリスチャンキャンプに参加させてくれたのです。キャンプに参加したビル先生は、そこで神様の愛を知りました。お母さんには捨てられましたが、神様はビル先生を決して見捨ててはいなかったのです。神様は一人のクリスチャンの愛の行為を通して、ビル先生をご自分の愛の中に引き寄せられたのです。

When he was in the depth of loneliness and despair, a man appeared to him. He saw him sitting in the same spot for three days so he talked to him. This man paid for him to go to Christian camp. That was where Pastor Bill learned about God's love. He was abandoned by his mother, but God never abandoned him. Through this Christian man's act of love, God drew him closer to His love.



神様から愛を受け取ったビル先生は、自分のように傷ついた子どもたちに神様の愛を届けようと思いました。そして、自ら危険を顧みず、ブルックリンのスラム街へと入っていき、そこで教会学校ミニストリーをはじめたのです。今のようにたくさん子ども達が教会学校に集うまでには、数え切れないほど多くの試練の中を先生は通ってきました。今でもそのチャレンジは続いています。しかし、先生は子どもたちに愛を伝えることを決して止めません。なぜでしょうか？それは神様から出た愛が先生に注がれ、その愛によって先生が動かされているからです。

Since Pastor Bill received God's love, he decided to deliver God's love to those children who are as hurt as he used to be. Despite the danger, he entered the slum to start the Sunday School ministry. Today there are so many children in the Sunday School, but to get where he is now, he went through so many countless trials. It still is a challenge for him. However, he never stops to deliver God's love to children. Why? Because he is moved by the love, that flows from God and is poured into him.

もちろん、すべての子どもたちが心を開くわけではありません。しかし、先生を通して神様の愛を受け取る子どもたちは、今度は彼らが神様の愛を他の人へと届けるようになるのです。私たちはここに神様の愛の流れを見ることができます。神様から出た愛は、それを受け入れる人を満たすだけでなく、新しい愛の流れを生み出します。それが神様の愛の力であり、それが私たちに向けて流れている理由です。聖書には、愛は、聖霊が私たちに結ばせてくれる実であるとあります(ガラテヤ5:22)。私たちは自分で愛の実を結ぶことはできません。けれども、聖霊を通して神様の愛を受けるならば、愛の実を結ぶことができるのです。


Of course not every child opened his heart. However, those children who received God's love through his teaching, will deliver His love to others. Here we can see the flow of God's love. Love that flows from God not only satisfies people who receive it, but also starts new flow of love. That's the power of God's love and the reason why it is flowing toward us. The Bible tells us that love is the fruit of the Holy Spirit. (Galatians 5:22) We cannot bear the fruit of love by ourselves. However, if we receive God's love through the Holy Spirit, we can bear the fruit of love.

私たちの罪のためにいのちを捨てて下さった主イエスはおっしゃいます。「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです」(ヨハネ15:12)。私たちが神様から愛を受け、その愛をもって互いに愛し合うことは、主イエスの命令です。それは私たちの年が何歳であったとしても関係ありません。何ができるかできないか、何を持っているか持っていないかなどは関係ないのです。すべて神様から出た愛を受ける者に、神様は互いに愛し合うことを命じておられるのです。


The Lord Jesus who died for our sin said, "My command is this: Love each other as I have loved you." (John 15:12) It is Jesus' command that we receive love from God and love one another. It does not matter how old we are, what we have or don't have. For everyone who receives God's love, He commands to love one another.

では、神様が「互いに愛し合いなさい」といわれる時、それは誰かから愛を受けたら、それに対して愛をもってお返ししないという意味でしょうか？もちろん、聖書には愛は「礼儀に反することをせず」(I コリ13:5)とありますから、受けるだけというのは失礼になるでしょう。しかし、神様が言われるのは、それぞれが神様から出た愛を受けて、その愛をもって兄弟を愛しなさいということです。つまり、そこには愛の流れがあるのです。神様から出た愛は私に注がれ、さらに私から他者へと向かって流れていくのです。その愛がクリスチャン同士の間で全うされるなら、互いに愛し合うということになるのです。この愛の流れを私たちは心に留めさせていただきます。

When God tells us to 'love each other', does it mean we have to reciprocate when we receive love from someone? Of course, the Bible says that love 'is not rude' (1 Corinthians 13:5) so it would be not so polite just to receive it. However, what God is telling us is, each of us should receive the love which is from God, and with that love, we should love each other. In short, there's a flow of love. The love flowed from God is poured into me, and it will flow from me to others. If that kind of love is achieved among Christians, we are loving one another. Let us remember this flow of love.

ビル先生が書いた本の中で、こんな話が紹介されていました。オーストラリアの南部に、2マイルほどの長い砂浜があります。年に数度、何千というヒトデが高潮で海岸に打ち上げられます。そのほとんどは高潮が戻ってきた時に波にさらわれて海に戻っていくのですが、なかには砂浜に取り残されるものもあります。取り残されたヒトデは、少しでも太陽にさらされると、乾いて死んでしまいます。 

I want to tell you one of the stories from the book Pastor Bill wrote. There is a long beach, about 2 miles, in southern part of Australia. Several times a year, a few thousand of starfish land on seashore because of high tide. Most of them will be pushed back to the ocean when high tide comes back, but some of them are left on the beach. Those starfish will die, when it dries too much because of sun.



ある日の夜明け頃、一人の旅行者がその砂浜をジョギングしていました。走っている時、何千というヒトデが砂浜に打ち上げられているのに気づきました。すると、遠くのほうで一人の若者がヒトデを拾っては、波の中に投げて戻っていたのです。旅行者は若者に近寄り、言いました。「あなたが何をしているのかも、どうしてそんなことをしているのかもよく分かるけど…、でも砂浜はこの先数マイルもあるし、ヒトデは何千といるんだよ。そんなことをして、何か違いがあると本当に思うのですか?」。その若者は彼を見ながら、また一つヒトデを拾い、海に投げ入れて言ったのです。「よくわからないですよ。でも、あのヒトデにとっては、生か死かの違いがあるのではありませんか?」



One day around sunrise, a traveler was jogging along the beach. He noticed several thousands of starfish on the beach. He also noticed a young man who was picking up a starfish, and throwing it back to the ocean, one by one. The traveler came to this man and told him, "I know what you are doing, and why you are doing this. But this beach is a few miles long, and there are several thousands of starfish. Do you really think what you are doing makes any difference?" The man looked at him, picked up another starfish, threw it in the ocean, and said, "Not really, but I believe for that starfish, it is the difference between life and death."

私たち一人一人は小さな存在です。私たちは一度にたくさんの人を愛することはできません。けれども、もしあなたがだれかを愛することをはじめると、その愛を受けた人は、あなたを通して愛が何かを知るようになるのです。そして、その人もまた他の人に愛を手渡していくことが可能となるのです。そのように神様から出た愛が、私たちを通して流れ出る時、それはさらなる愛の流れを生み出していきます。どうでしょうか? 私たちは神の愛の流れを自分のうちで止めてしまうのではなく、その愛が他の人々にも及ぶために、神の愛のパイプ役として神様に用いていただくことはありませんか。

Each of us is just a small existence. We cannot love many people at once. However, if you start to love someone, that person who received your love will know what the love is through you. And he/she will continue to love others. When the love that flows from God pours out through us, it creates further flow of love. What do you think? We should not stop the flow of God's love within us. Let us being used by God so that we can be the pipeline of God's love to pass on His love to others.